

安全データシート

改訂日:2025年4月1日

1. 製品及び会社情報

製品名
推奨用途
会社名
住所
電話番号

りん酸三ナトリウム12水
試験研究用
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
IB0471

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性

皮膚腐食性・刺激性:区分1

眼に対する重篤な損傷・眼刺:区分1

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性):区分3

水生環境有害性 長期(慢性):区分3

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

重篤な眼の損傷

水生生物に有害

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

環境への放出を避けること。

【応急措置】

直ちに医師に連絡すること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水【またはシャワー】で洗うこと。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名

別名

化学式又は構造式

化学物質を特定できる一般的な番号

成分及び含有量

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

その他

化学物質

りん酸三ナトリウム12水

オルトリン酸三ナトリウム12水

 $\text{Na}_3\text{PO}_4 \cdot 12\text{H}_2\text{O}$

CAS RN:10101-89-0

りん酸三ナトリウム12水 98%以上

(1)-497 / 公表

HSコード:2835.29

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

ただちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

ただちに医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ただちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

ただちに医師に連絡すること。

急性症状及び避発性症状の最も重要な兆候症状

吸入:灼熱感、咳、息切れ、咽頭痛。

皮膚:皮膚熱傷、痛み、水疱。

眼:発赤、痛み、重度の熱傷。

経口:腹痛、灼熱感、ショックまたは虚脱。

応急処置をする者の保護	肺水腫の症状は2～3 時間経過するまで現われない場合が多く、安静を保たないと悪化する。したがって、安静と経過観察が不可欠である。 医師または医師が認定した者が、適切なスプレー剤を直ちに使用することを検討する。 該当情報なし。
医師に対する特別注意事項	
5. 火災時の措置 適切な消火剤 使ってはならない消火剤 特有の危険有害性	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類。 該当情報なし。 不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。 適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。
特有の消火方法	
消火を行う者の保護	
6. 漏出時の措置 人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。 全ての着火源を取り除く。 環境中に放出してはならない。 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化方法・機材 二次災害の防止策	
7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い 技術的対策(局所排気・全体換気)	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 取扱後は手をよく洗うこと。 適切な保護手袋を着用すること。 適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。 10項に示す混触危険物質との接触を回避する。 取扱い後はよく手を洗うこと。
安全取扱い注意事項	
接触回避 衛生対策 保管 技術的対策 適切な保管条件 容器包装材料	特別に技術的対策は必要としない。 施錠して保管すること。 ポリプロピレン、ポリエチレン
8. ばく露防止及び保護措置 管理濃度 許容濃度等 日本産業衛生学会 ACGIH 濃度基準値	未設定 未設定 未設定 8時間: 未設定 短時間: 未設定
設備対策	この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具 呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。 適切な保護手袋を着用すること。 適切な眼の保護具を着用すること。 適切な保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質 物理状態 色 臭い 融点/凝固点 沸点又は初留点及び沸点範囲 可燃性 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 引火点 自然発火点 分解温度 pH 動粘性率 溶解度	結晶又は結晶性粉末 無色～白色 無臭 75℃(結晶水が分離し溶解する温度) 該当情報なし。 不燃性 該当情報なし。 不燃性 不燃性 該当情報なし。 11～13(1%溶液) 該当情報なし。 28.3g/100g (15℃ 水)。 水に溶けやすく、エタノールにほとんど溶けない。 該当情報なし。 該当情報なし。 1.62g/cm³ (20℃) 該当情報なし。
n-オクタノール/水分配係数 蒸気圧 密度及び/又は相対密度 相対ガス密度	

粒子特性	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	常温では安定。 空気中の二酸化炭素を吸収する。
危険有害反応可能性	水溶液は強塩基であり、酸と激しく反応し、腐食性を示す。水の存在下で多くの金属を侵す。
避けるべき条件	日光、高温、多湿、高積
混触危険物質	酸(水溶液)
危険有害な分解生成物	加熱すると分解し、有毒で腐食性のヒューム(リン酸化物など)を生じる。
11. 有害性情報	
急性毒性	経口：ラットのLD50=7,400mg/kg(RTECS)に従って、区分外とした。
皮膚腐食性・刺激性	水溶液は強いアルカリで腐食性の熱傷をもたらす可能性があるとの記述(HSDB(2009))に加え、0.1%~1%溶液のpHが11.5~11.9である(Merck(14th, 2006))に基づき区分1とした。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	水溶液は強いアルカリで腐食性の熱傷をもたらす可能性があるとの記述(HSDB(2009))に加え、0.1%~1%溶液のpHが11.5~11.9である(Merck(14th, 2006))に基づき区分1とした。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	該当情報なし。(分類できない)
生殖細胞変異原性	該当情報なし。(分類できない)
発がん性	該当情報なし。(分類できない)
生殖毒性	該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器・全身毒性-単回ばく露	該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器・全身毒性-反復ばく露	該当情報なし。(分類できない)
誤えん有害性	該当情報なし。(分類できない)
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期(急性)：魚類(カダヤシ)での96時間LC50 = 28.5 mg/L(無水のデータ)があり、GHS分類は区分3とした。 長期(慢性)：急性毒性区分3であり、急速分解性に関する適切なデータがないのでGHS分類は区分3とした。
残留性・分解性	該当情報なし。
生態蓄積性	該当情報なし。
土壤中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意	
国連番号	3262
品名(国連輸送名)	その他の腐食性物質(無機物)(固体)(アルカリ性のもの)
国連分類	クラス8
容器等級	Ⅲ
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	154
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物[りん酸ナトリウム(別名りん酸三ナトリウム)] 皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質[リン酸三ナトリウム] 危険物に該当しない。
消防法	腐食性物質
船舶安全法	腐食性物質
航空法	
16. その他の情報	
引用文献	NITE-CHIRIP(製品評価技術基盤機構HP) 化学品安全管理データブック(化学工業日報社) 17423の化学商品 記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。